

平成 25 年度 卒業論文研究計画書

テーマ名『趣味に対する意識と趣味による社会的位置づけ』

2013 年 7 月 20 日

酒井麻衣子ゼミ

21011376 吉永 茉莉奈

背景

趣味(しゅみ)は以下の意味を持つ。①人間が自由時間(生理的必要時間と労働時間を除いた時間、余暇)に、好んで習慣的に繰り返しおこなう行為、事柄やその対象のこと。道楽ないしホビー(英: hobby)。②物の持つ味わい・おもむき(情趣)を指し、それを観賞しうる能力(美しいものや面白いものについての好みや嗜好)のこと(英: taste)。調度品など品物を選定する場合の美意識や審美眼などに対して①「趣味がよい/わるい」などと評価する時の趣味はこちらの意味である。趣味は、人間が生きていくのに必ずしも必要なものではない。だが、趣味を持っている人は多い。趣味を持っている人の中には、インターネットやテレビといった比較的簡単に出来るものから、楽器やカメラといった時間をかけて楽しむ趣味など、さまざまである。人により趣味に対する違いがあるのではないか、また、①の様に「趣味がよい/わるい」によって、社会的位置づけが違うのではないか。

目的

この論文では、世代によって趣味に対する意識の違いと、趣味の「趣味がよい/わるい」によって社会的位置づけが違うのかを明らかにする。

研究方法

- ・趣味に関する事例研究
- ・趣味についての意識調査

調査方法: ヒアリング調査

今後のスケジュール

9月前半 ヒアリング調査・本文にとりかかる

9月後半 ヒアリング調査のまとめ

10月 本文を書き進める

12月 卒論完成

参考文献

総務省: <http://www.soumu.go.jp/>